

とやまけん もっと ぜつめつ ちか  
 富山県で最も絶滅に近いチョウ・コヒョウモンモドキ
かな  
悲しいニュース…

先日、悲しいニュースが飛び込んできました。オガサワラシジミ(図1)の飼育個体が全滅したというものです。このチョウは、世界中で日本の小笠原諸島にしかおらず、しかも野生では2018年を最後にまったく見つからなくなっていました。絶滅を防ぐために人工飼育されていましたが、全滅してしまったのです。このまま野生で再発見されなければ、このチョウは地球上から完全に消



図1 オガサワラシジミ 東京動物園協会提供

えたこととなります。生き物は他の生き物と互いに影響し合って生きています。オガサワラシジミが消えることで、他の生き物がドミノ倒しのように絶滅しないか心配です。どこかで生き残っていて、昔のようにたくさんいるチョウに戻ってほしいと願います。

とやま ぜつめつ おも  
富山でも絶滅したと思われるチョウがいる

都道府県ごとにみると、チョウの地域的な絶滅は全国で起きています。富山でも、正式な絶滅宣言は出ていませんが、コヒョウモンモドキ(図2)はもう60年以上見つかりません。このチョウは、山の上の草原にすみ、幼虫はクガイソウという植物を食べます。県内では、旧有峰村でのみ確認されていました。1956年の観察記録ではたくさんいたと書かれていますが、その場所は現在有峰湖となり、沈んでしまいました。しかし、有峰湖畔には幼虫のエサであるクガイソウが生えていますし、有峰湖に近い岐阜県内にはまだ生息地があります。そのため、いつか富山で復活するのではないかと期待していますが、今のところいくら探しても再発見できていません。復活のためには、なぜ有峰湖に沈んだ場所にだけすんでいたのか、解き明かす必要があるようです。しかし、当時のことがわかる資料は少なく、とても難しそうです。(岩田朋文)



図2 当館所蔵の有峰産コヒョウモンモドキ



図3 クガイソウ

こんげつ  
今月のかがくのギモン：富山で絶滅しそうな昆虫はどのくらいいるの？  
 (答えは当館ホームページを見てください)